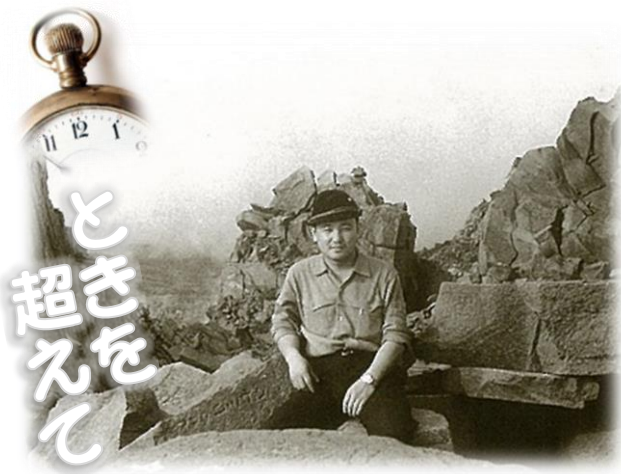


2014. 4. 7 No.2113 No.31

三條南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



出席率 会員50名中39名

先々週の出席率 93.62%(3/17)

先々週のメイクアップ 3/19 次年度新理事役員会へ
佐々木常行君 松崎孝史君
荒澤威彦君 馬場真樹君
馬場信彦君 銅冶康之君
星野健司君 永桶俊一君
野崎正明君 齋藤嘉一君
鈴木 武君 田代徳太郎君
3/28 吉田RCへ 坪井正康君
4/3 加茂RCへ
野崎正明君 坂井範夫君
4/5 米山カウンセラー研修会
熊倉高志君



会長挨拶

三條南ロータリークラブ会長

草野恒輔

こんにちは。

救急の3回目の話です。いよいよ救命救急センターを持つ県央基幹病院の
大まかではありますが内容をお伝えできます。

救命救急医療の中核的機能を担い、「地域救命救急センター」として、各
疾患の重症患者さんに高度・専門的医療を提供することになる。その為、
19科を基本とする。

内科：循環器・消化器・呼吸器・内分泌・腎・膠原病

小児科、神経内科、精神科

外科：心臓血管・呼吸器・消化器

整形外科、泌尿器科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科
(診断・治療)、救急科、リハビリ科、麻酔科、歯科口腔外科

このほか、総合診療科。

病床数は500、うち救命救急センターは19。医師数は80名を目途に。
高度・専門的医療を行うために増員が必要。

救命救急センターを持つ病院としては、ICU(集中治療室)、CCU(冠疾患集
中治療室)が必要。24時間体制で重症患者等の救急患者の受け入れをおこ
なう。地域災害拠点病院となり、災害時医療支援チーム(DMAT)を持つ
ことになる。

特に圏域外搬送の多い心疾患・小児疾患・脳疾患・外傷等について他の病
院と連携しながら、受け入れ体制の充実をはかる。小児救急患者について
は、軽症患者も含め24時間対応可能な体制を構築する。がんにおける拠
点的医療機能を整備する。

また、人材の確保という面では基幹型臨床研修病院として、免許取得後
2年間の研修医を受け入れる。今まで、県央で研修を希望する人材がいな

四つのテスト

一言行はこれに照らしてから—

I 真実かどうか

II みんなに公平か

III 好意と友情を深めるか

IV みんなのためになるか どうか

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

国際ロータリー会長 ロンD. バートン [アメリカ]

第2560地区ガバナー 山崎 堅輔 [中条]

第4分区分AG 鈴木 守男 [三条東]

会 長 草野 恒輔

幹 事 平松 修之

S A A 齋藤 嘉一

事 務 局 〒955-8666 三條市旭町2-5-10

三條信用金庫 本店内

TEL 0256-35-3477 FAX 0256-32-7095

E-mail info@sanjo-minami.jp

URL http://www.sanjo-minami.jp

次に必要なことは各種の専門学会の認定医資格の取得が出来る後期臨床研修病院としての環境を整備することが必要です。一つだけ自慢させてもらえば、富永草野病院は整形外科・手の外科・脊椎脊髄病の指導医がおり、認定医を養成するため、自治医科大学と琉球大より医師になって6～10年の後期臨床研修医を受け入れています。

分かり辛い部分もあったかと思います。いつでも、何でも質問を受けますのでよろしくお願いします。

本日も2句！ まだ懲りん 魔法のクラブ また買った
へボゴルフ 練習場でも 「ファー」の声

現行と同じく $1 \$ = 102$ 円

ニコニコボックス
NIKO-NIKO BOX

～ 4 月 7 日 11,000 円
今年度累計 636,661 円～

荒 澤 君 BOX担当でした。
ご協力ありがとうございました。

卓話

「『ロータリーの友』を開いてみてください」 野中 悟 クラブ会報委員長

「雑誌月間」は、『THE ROTARIAN』及びロータリー地域雑誌（『ロータリーの友』など）の購読と活用促進に



役立つプログラムを行う月間です。雑誌に対する会員の認識を深め、それによってロータリー情報の普及を図ることを目的としています。

RIの初代事務総長チェスリー・ペリーによって創刊された、公式機関誌『THE NATIONAL ROTARIAN』（『THE ROTARIAN』の前身）が発刊された1911年1月25日を記念して1月25日を含む1週間を雑誌週間としていましたが、1978-79年度から雑誌週間は4月に移され、1983-84年度に特別月間として、4月がロータリー雑誌月間に指定されました。

『ロータリーの友』は、日本におけるロータリーの機関誌です。

1979年7月号からの1年間の試験期間を経て、1980年7月号から、『ロータリーの友』は、国際ロータリー（RI）の公式地域雑誌になりました。現在は、この呼び方が変わり、「ロータリー地域雑誌」と呼んでいます。RI本

部で編集・発行している国際ロータリーの機関誌『The Rotarian』と、31の地域雑誌を合わせて、「ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS」と言います。

1952年7月、日本のロータリーが2地区に分割されました。分割後もお互いのことを知っていたいという思いがあり、両地区に共通の雑誌の発行が決まり『友』が誕生しました。創刊号は1953年、横組みでした。そして、2013年1月、創刊60周年を迎えました。

雑誌の名前は、第2回創刊準備会で、投票によって岐阜クラブの遠藤健三氏提案の『ロータリーの友』に決定しました。遠藤氏は後日談で『主婦の友』からヒントを得たと述べています。

広告が創刊号から・・・定価に関して東西が対立し、遠藤氏が仲裁案として50円案を出しました。雑誌の体裁としては東の活版案になったわけですが、活版で作成すると原価が93円75銭かかり、予算が不足することははっきりしていました。遠藤氏は仲裁案を出すときから広告を取って補てんしなければならないと考えていたようです。定価100円は1962年12月号まで続き、その後1974年12月号まで定価110円が続き、しかし、印刷代諸物価の値上がりにより、1975年1月号から定価200円になり現在に至っています。

現在でも『友』にとって広告は大事な収入源で、1975年以來の200円を維持していくためにも、この広告収入が役かっています。

『友』2014年4月号の発行部数は95,400部。各雑誌の発行国、発行部数などは、『友』誌4月号横組みP8～9に掲載されています。

RI 指定記事



ロータリー地域雑誌には守らなければならないいくつかの規則がありますが、その一つが『THE ROTARIAN』の記事で、指定されたものを翻訳して掲載しなければならないということです。これらの記事を「RI指定記事」と呼んでいます。指定記事には、それだとわかるように、記事のタイトル周りには上のロゴを、目次には下のロゴを入れています。

指定記事以外にも、『The Rotarian』からの記事を転載することがありますが、その場合には『The Rotarian』●月号から」とだけ入れ、このロゴは入っていません。



2008-09年度から、RI指定記事として「Global Outlook」が加わりました。11月号、2月号、5月号に挿入されています。「ポリオ撲滅」「識字率向上」などの国際ロータリーで力を入れている活動や、「ソーシャルメディア」「ロータリーの公共イメージの向上」などテーマ別に、幅広く特集が組まれています。

「Global Outlook」は、ここだけ取り外して保存することができるように、『ロータリーの友』誌の真ん中に掲載しています。

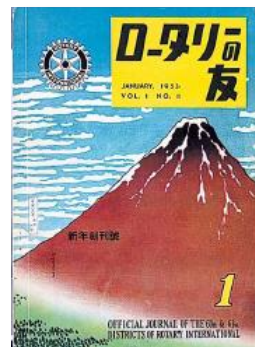


毎年8月号に掲載していた「ロータリーの基本知識」が、今年度から「ロータリーを再発見。奉仕と友情の輪を広げよう」に変わりました。

この記事は、国際ロータリーが打ち出した新しいブランドイメージに即したロゴや誌面デザインを取り入れた最初の記事です。

昨年は、国際ロータリーの準備の都合で9月号の掲載になりました。

「Global Outlook」と同様、ここだけ取り外して保存することができるように、『ロータリーの友』誌の真ん中に掲載しています。



「Rotary いま・・・」はロータリーの最新情報を新会員にもわかりやすくお知らせするコラムです。2013年8月号から始まりました。

東日本大震災の支援活動を掲載した「心は共に」を連載中



『ロータリーの友』は、一般社団法人ロータリーの友事務所で制作し、販売されています。ロータリーの友委員会は、国際ロータリーの規定で、ロータリー地域雑誌に設置を義務付けられたものです。

同社員と理事、監事は、全員ロータリアンです。

実際の業務は職員が行っていますが、理事は、職員の指導をしたり、管理をしたりしています。

ロータリーの友委員会のメンバーは、『ロータリーの友』横組み目次（Contents）ページに、一般社団法人ロータリーの友事務所の社員・理事ならびに職員は、奥付（日本地図のある）ページに掲載されています。

ロータリー地域雑誌には、委員会を設置することが、国際ロータリーの規定で決められています。

ロータリーの友委員会は、その規定に基づいた委員会で、『ロータリーの友』についての全般的な指導監督の役割を担っています。



2011年3月11日の震災直後から始めた「心は共に」は3年を迎えました。

「心は共に」というタイトルは、震災直後に海外から『ロータリーの友』宛てに送られてきたお見舞いや支援をしたいという申し出のメールのほとんどが「遠く離れていても、私たちの心は日本の皆さまと共にあります」と結ばれていたことから、これをタイトルにしたものです。これからも震災関係の記事は継続して掲載し続けられます。

横組みと縦組みが分かれた現在のよう形になったのが、1972年1月号からです。その第1号の表紙には、陣羽織の前からの写真と後ろからの写真が使われ、両面が表紙という雑誌の特徴をうまく生かしています。

現在、横組みには、ロータリーの特別月間に関する特集、ロータリー地域雑誌としての公式的な記事を中心に掲載しています。縦組みは、日本のロータリアンのコミュニケーションの懸け橋となる記事を掲載しています。投稿が中心です。

縦組みのこのコーナーは、ロータリアン個人、ロータリークラブと、約3年ごとにテーマや対象を変えて続けられています。

今年度からスタートしたシリーズのテーマは「町」です。

地方の町が元気がないと言われていますが、その中でいろいろと工夫をしてがんばっているところを取り上げ、地元のロータリアンに案内をしていただく形でプロのライターとカメラマンが取材をし、記事にしています。どこの町のどのような話題を取り上げるのか、主に、地元の情報に詳しいロータリーの友地区代表委員からの情報提供によって取材先は決められています

『Rotary Japan』という名前で、ホームページが開設されています。

ロータリアン以外の人々に、ロータリーを知っていただくために、コンテンツページを構成しています。

日本国内全クラブの例会一覧表が載っています。ホームページを開設しているクラブは、その例会一覧表にリンクしてありますから、メイクアップの際に、事前にどのようなクラブか調べていくと、そのクラブの方々と楽しく話ができると思います。

歴代の国際ロータリー（RI）会長・RIテーマ、国際大会の開催場所・登録者数、その他、ロータリー関連資料も掲載しています。

2013年4月に開催された国際ロータリーの規定審議会で、アメリカとカナダ以外のロータリアンも、印刷版と電子版の選択ができるようになりました（アメリカとカナダのロータリアンについては、2010年4月の規定審議会で、印刷版と電子版の選択ができるようになりました）。

それに伴い、『ロータリーの友』は2014年1月号から、電子版の配信が始まりました。

現在はテスト段階で、印刷版と電子版の選択はできませんが、国際ロータリーの新しい規定に沿って、印刷版と電子版の選択ができるよう準備が進められています。

ご覧いただくにはIDとパスワードを入力する必要があります。IDとパスワードは事務局にお尋ねください。

クラブや地区で広報への関心が高まってきていますが、広報のために使える冊子が何かほしいという声に应运、2008年8月、広報誌『ROTARY 世界と日本』が創刊、2009年以降は、毎年8月にアップデートされています。

A5判 16ページの小冊子。事務局で備えておりますので、地域でのイベントの際にロータリアンでない人々に配布等、ご活用下さい。



2009年8月、「会員勧誘用」として、

『ROTARY あなたも新しい風に』が創刊されました。その後、毎年8月にアップデートされています。奉仕活動だけではなく、例会や親睦などについての項目もあります。B5判 12ページの小冊子、こちらも事務局で備えております。

広報誌『ROTARY 世界と日本』と一緒に、会員候補者または新会員にお渡しいただければ、短時間でロータリーの概要を理解してもらうことができます。



『友』誌表紙写真募集中！

次年度の表紙を飾る写真を募集しています。写真がご趣味の方、自慢の一品をご応募下さい。テーマは自由、〆切は4月30日。お一人3点まで。四つ切サイズの写真に、撮影月などの事項を書き添えてお送り下さい。

“武藤塾” 作品を投稿いたしました。

ご指導いただておりました武藤昭三塾長が体調を崩され、13年間、新年会に寄せて行ってまいりました「記念俳句会」が中止せざるを得なくなりました。残念な結果となりましたが、武藤塾長よりご指導いただいた「俳句塾の成果」として、いままで塾長より優秀作品として評された句を「友」の『俳壇』へ投稿してみてもはとのご意見をいただき、今回、23名の98作品をお送りいたしました。

いつか、どなたかの句が掲載されることを楽しみに毎号、頁をめくってみて下さい。

ROTARY NEWS



国際ロータリー第2560地区 2013-2014年度「ガバナー月信」 2014.4.01

グローバル補助金報告

タイ スラッタニー第3330地区における6小学校への水浄化プロジェクト

国際ロータリー第2560地区
ロータリー財団副委員長
野 沢 正 信（新潟北 RC）

未来の夢計画実施初年度、新補助金システムが3年間の試験期間を経て全世界で実施されることになりました。当地区では海外での共同事業の実績に乏しく、新補助金システムのグローバル事業は今迄の補助金と違い6つの重点分野をクリアしていること、持続可能、成果検証、等が求められるハードルの高い事業です。

当第2560地区は山崎ガバナー提案による、北海道 第2500地区（北海道東部）と共同事業としてグローバル補助金活用事業を進めることになりました。

因みに、このプロジェクト資金は、第3330地区5,000ドル、第2500地区10,000ドル、第2560地区10,000ドル、WF25,000ドルで 事業合計50,000ドルの規模の大きな事業です。

タイ第3330地区スラッタニー地域の6小学校への水浄化プロジェクトに参加することを決めましたが当地区は経験不足もあって、事業化に向けての取組は第2500地区担当者の笹谷さんに変お世話になりました。北海道第2500地区は7～8年前からタイ第3330地区（バンコクからプーケット、マレーシア国境迄）と友好地区であり、数多くの支援事業を経験している地区でもあり、当地区としては共同事業者としては最適であると判断しました。また第3330地区はパイロット地区でもあり、世界で一番初めに地区補助金を受領した地域でもあり未来の夢計画を理解している地区と云われています

GOVERNORS'
MONTHLY LETTER



昨年3月から動き出した計画は、第2500地区の担当者の笹谷さんを通して情報を頂き、協議を重ねての連続で当地区ガバナー事務所のスタッフや、関わった委員の皆さんに大変ご苦労頂きました。

お陰様で年末までには水浄化設備も完成し、第3330地区から地区大会参加と共同事業としての水浄化設備の見学も兼ねての招請要請があり、山崎ガバナーと共に3月6日～9日迄タイへ訪問して参りました。

第2500地区から葎本ガバナー、東堂ノミニ、小船井PGの3名、当地区から山崎ガバナーと私の2名で、日本からは合計5人のメンバーが参加しました。

スラッタニー地区から60kmほど車で移動し小学校に到着すると、校門から校舎まで日の丸の小旗を振って迎えてくれました。講堂に入ると地元ロータリアン、小学校の生徒、父兄、学校関係者、地域の人達が集まり、この水浄化施設がいかに地域の人々に期待されているかが判ります。

式典が始まると私どもロータリアンに浄水器によって作られたペットボトル入りの水が提供され、地区ロータリアンや学校関係者が次々にロータリーのおかげで生徒たちがきれいな飲料水を飲むことへの感謝を述べ、ロータリーのおかげで地域住民も恩恵を得ていることをアピールしていました。

その後、テープカットのセレモニーや浄水設備機器の見学、父兄が手作りの昼食を用意して地域、学校、ロータリアンが一体となって我々を歓迎してくれました。

この事業で感心したことは、地元のロータリアンが地域の水浄化のニーズを取り上げ、地域住民や学校関係者を巻き込んで小学校の生徒が安全な水を飲むのは日本のロータリーと地元ロータリーの支援のお蔭だとロータリーの公共イメージ向上に広く貢献していることです。ロータリーの活動があればこそこの施設があるという事をしっかり子供から大人までロータリーの活動を理解していることです。日頃から地元クラブのこうした草の根が、小さなクラブでも認められることで励みにもなり、ひいてはロータリー活動の原動力になっているように思われます。このようにグローバルで地域貢献が実感でき、喜びを感じられる活動をもっと多くのロータリアンに知ってもらうことが今後の我々に課された広報活動かなと思います。

世界に目を向け一歩を踏み出すと、わくわくドキドキの知らない世界での交流が広がります。どうかグローバル補助金活用で知らない世界を感じて下さい。

次週例会 4月21日 クラブ・フォーラム「地区研修・協議会報告」

次々週例会 4月28日 卓話 燕三条FM 業務部本部長 馬場 博文 様
「災害地におけるコミュニティFM放送の役割」



ときを超えて

あの日の一枚

渡邊 光郎 会員

闘病生活を軽た

47年8月13日、島海山山頂にて



三條南ロータリークラブ週報

2014. 4. 7

No.2113 No.31